

# みなと区議会だより

**No.189** 2012年(平成24年)1月1日

港区議会 / 〒105-8511 (専用郵便番号) 港区芝公園1-5-25 電話(3578)2111(代) <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

**第4回定例会**  
平成23年11月30日～12月9日

## 謹賀新年



議長新年のあいさつ



港区議会議長

菅野 弘一

新しい一年がはじまりました。

区民の皆様には、健やかな新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

港区議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年も区民の皆様、お一人お一人にとりまして、一層の飛躍の年となりますよう、お祈り申し上げます。

本年は、東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故からの本格的な復興を目指して、着実に国民一丸となって、心一つに取り組んでいく年、復興元年と考えております。

昨年の区議会議員選挙では、多くの新たな議員が当選し第17期の港区議会が発足しました。

本年も引き続き、会派をこえ、区議会の総合力を発揮し区政の諸課題の解決に、取り組んでまいります。

年頭にあたり、港区の一層の発展と区民の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

### 区議会議員の報酬を引き下げる 条例を可決しました。

平成23年第4回定例会は、11月30日から12月9日まで開会されました。初日と二日目に、計13人の議員から区長及び教育長に対して、代表・一般質問が行われました。

質問は「今後の財政運営と諸課題への取り組みについて」、「港区地域防災計画に女性の視点を盛り込むことについて」、「港区の組織改革の展望について／働きながら子育てできる万全の環境を」、「子どもたちを放射能汚染から守れ」、「震災に備えたマシンの発電燃料の調達について」、「学童クラブについて／児童虐待について／介護保険事業計画について」、「体系的な環境教育・バイクシェアリング・起業家支援策等について」、「在宅介護の充実／生活保護自立支援／耐震改修促進／情報システム改善」など区政全般にわたりました。区長から提出された案件を審議した結果、条例改正・補正予算など30件を原案どおり可決・承認しました。皆さんから提出された請願は、11件を継続審査としました。議員提出による案件は、条例改正を1件可決、意見書2件を可決し関係機関へ送付、1件を決議したほか、2件を継続審査としました。

### 目次

- 議長あいさつ…………… 1
- 新春を迎えて……… 2～3
- 各会派の抱負
- 代表・一般質問… 4～6
- 請願、決議、意見書 … 7
- 常任委員会の活動記録
- 審議結果…………… 8
- 特別委員会の活動記録  
おしらせ

- |    |       |     |       |     |       |    |    |    |   |    |    |     |     |    |     |    |   |    |    |    |   |    |     |     |      |    |     |    |      |     |     |    |    |    |    |    |   |    |     |    |   |    |    |    |    |    |        |    |     |    |    |     |    |    |    |    |     |    |     |    |     |    |     |    |     |
|----|-------|-----|-------|-----|-------|----|----|----|---|----|----|-----|-----|----|-----|----|---|----|----|----|---|----|-----|-----|------|----|-----|----|------|-----|-----|----|----|----|----|----|---|----|-----|----|---|----|----|----|----|----|--------|----|-----|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|
| 議長 | 菅野 弘一 | 副議長 | 林田 和雄 | うどう | 益満 寛志 | 小田 | あき | 清家 | あ | 横尾 | 俊成 | ちほぎ | みき子 | 鈴木 | たかや | 土屋 | 準 | 錦織 | 淳二 | 榎本 | 茂 | 杉浦 | のりお | なかま | え 由紀 | 近藤 | まさ子 | 杉本 | とよひろ | ゆうき | くみこ | 二島 | 豊司 | 赤坂 | 大輔 | 大滝 | 実 | 熊田 | ちづ子 | 七戸 | 淳 | 阿部 | 浩子 | 古川 | 伸一 | たて | した マサ子 | 池田 | こうじ | 清原 | 和幸 | うかい | 雅彦 | 風見 | 利男 | 沖島 | えみ子 | 樋渡 | 紀和子 | 渡辺 | 紀和子 | 井筒 | 専太郎 | 鈴木 | たけし |
|----|-------|-----|-------|-----|-------|----|----|----|---|----|----|-----|-----|----|-----|----|---|----|----|----|---|----|-----|-----|------|----|-----|----|------|-----|-----|----|----|----|----|----|---|----|-----|----|---|----|----|----|----|----|--------|----|-----|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|
- (議席番号順)

# 迎え

## 各会派の抱負

### 公明党議員団



近藤 まさ子



ちほぎ みき子



古川 伸一



杉本 とよひろ



林田 和雄



たてしたマサ子

区民の皆様、あけましておめでとうございます。

日頃より私たち公明党議員団に温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、女子ワールドカップで「なでしこジャパン」が世界を制覇し、私たちに大きな感動と自信を与えてくれました。一方、東日本大震災という未曾有の大災害や、福

島第一原子力発電所事故による放射能流出は、深刻な事態をもたらしました。また、長引く景気の低迷や歴史的な円高の影響などにより社会経済情勢の先行きが一段と厳しさを増し、港区政にも多大な影響を及ぼしています。

こうした時代にあって、私たちは「絆」の大切さ、「支えあう社会」を構築していくことの重要性を改

めて認識いたしました。

私ども公明党議員団は、全国の地方議員と国会議員のネットワーク力を最大限に發揮し、区民の生命と財産を守るための安全・安心の確保、災害に強いまちづくりを最優先課題とし、生活福祉の向上、雇用・中小企業・商店街の活性化、健康増進、環境・教育施策の充実もめざしてまいります。そして、どこまでも、生活者の視点に立った政策課題の実現・改革に全力を挙げて取り組むことをお誓い申し上げます。

この一年、区民の皆様のご健康、ご多幸、ご繁栄を心より祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

### 自民党議員団

平成二十四年の新春を迎え、ご家族皆様のご健勝をお慶び申し上げます。

昨年三月十一日、私たち議員は、平成二十三年度予算案審議中に地震に見舞われました。あれから早いもので十カ月が経とうとしております。被害にあわれた方々は、お正月をどのようにお過ごしかと、胸の痛み思ひです。

七月には、新潟、奥会津地方の豪雨による被害、九月には台風十二号による紀伊半島大雨による大被害で多くの住民の方が被災されました。昨年の日本列島は、自然災害と、福島第一原子力発電所事故との翻弄され、いまだに収束に向けた決定的な策がないまま、年明けを迎えてしまいました。

この災害を教訓に、港区も津波被害を想定、田町駅東口北地区公

共公益施設の着工一年延期による見直しで、予備電源や災害用備蓄倉庫等を地下から階上に変更。また区税収入動向見通しが不透明の一旦中止を余儀なくされました。新スポーツセンターでは、平成二十五年、東京国体のなごなな会場になっておりましたが、現在のスポーツセンターを改良し、使用するこことなおります。

昨年末十二月一日には高輪子ども中高生プラザが開館。また改築されたみなと保健所新庁舎は、工事期間の延長を経て完成。建設中の(仮称)芝地区子ども中高生プラザ等保健福祉複合施設も一部見直しを行い、本年中の開館を予定しています。皆様の使い勝手のよい施設運営を目指してまいります。

また昨秋、東日本大震災の教訓

から、「港区防災対策基本条例」を制定し、企業に一斉帰宅の抑制や、物資備蓄の努力義務を課し、地域の防災力の向上を図るための施策を展開しています。

都心に位置する港区は、世界の情報を集め発信し、日本の牽引力となり、発展を目指さなくてはなりません。港区議会自民党議員団は、今年も区民の皆様とともに、港区に住んでよかったと言われるまちづくりを目指してまいります。

今年には被災地の復興が進み、国内経済の活性化により、国民が共に豊かさを感じる世の中になれるよう関係各方面とも連携し尽力して参ります。

区民皆様の益々のご健康、ご事業の発展をお祈りし、新年の挨拶といたします。

### フォーラム民主



渡辺 専太郎

謹賀新年

昨年3月11日に発生した東日本大震災の復興に向け、野田総理は努力しています。私も民主党の一員として、これからも区民の声を党本部に伝えていきます。また区議会でも皆様のご意見ご要望を区政に反映するよう頑張っております。皆様にとって、よい年でありますように。

### 社民党



阿部 浩子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は東日本大震災による甚大な被害があり、多くの方々が犠牲になりました。改めて災害対策の必要性や私たちの暮らしについても考える機会となりました。また、原発事故は収束していません。社民党は、命を大切に政治、生活を守る政治を目指し、今後も全力で取り組んでいきます。本年もよろしくお祈り致します。



二島 豊司



ゆうき くみこ



土屋 準



鈴木 たかや



うかい 雅彦



清原 和幸



池田 こうじ



赤坂 大輔



鈴木 たけし



井筒 宣弘



菅野 弘一

# 新春を

## 各会派の抱負

### みんなの党



益満 寛志



うどう 巧



榎本 茂



錦織 淳二

高層住宅の新たな震災対策、運河の水質浄化、暴力団排除条例制定へ向けての取り組みも行いました。本年は引き続き「モノ言う会派」として区政改革への取り組みを続けて参ります。

明けましておめでとうございます。また巨額の建設費や年間8億5千万円の党は新たに4議席を頂きました。円という維持費が見込まれてい

### 共産党議員団



熊田 ちづ子



大滝 実



沖島 えみ子



風見 利男

防災対策の充実をはかります。消費税増税、介護保険料の引き上げなど、税と社会保障の改悪を許さないためにがんばります。本年もどうぞよろしくお願ひします。

新年あけましておめでとうございます。被災地への「救援ボランティア活動」は多くの区民の皆様にご協力ありがとうございます。

### 仲間へ勇気の会



なかまえ 由紀

明けましておめでとうございます。昨年は震災が私たちに大きな痛みと教訓を残した一年でした。

### みなと政策クラブ



清家 あい



小田 あさ



七戸 淳



杉浦 のりお



樋渡 紀和子

新年あけましておめでとうございます。日本中が力合わせて戦ってきました。港区では、特別区民税は前年度比約97億円減収と見込まれる中、くチェックしながら、区民の声を

### ミナトミライ



横尾 俊成

新年あけましておめでとうございます。東日本大震災から十ヶ月が過ぎました。昨年は、被災地支援に加え、港区らしい防災対策のあり方を提起しました。

### 第4回定例会 会議日程

11月30日 運営委員会・本会議 会期決定 諸報告

代表・一般質問5名

12月1日 運営委員会・本会議

代表・一般質問8名

議案等付託

5日 4常任委員会

議案の審査

6日 4常任委員会

議案の審査

7日 総務・保健福祉・区民文教常任委員会

議案等の審査

8日 4常任・4特別委員会

委員長報告・中間報告

運営委員会

請願審査

9日 運営委員会・本会議

議案等の議決

# 代表・一般質問

(要旨)

11月30日  
12月1日

## 今後の財政運営と諸課題への取り組みについて

自民党議員団

### 今後の財政運営について

質問 厳しい社会経済状況を踏まえ、どのように今後の財政運営を進めていくお考えか。

答弁 東日本大震災の影響や、欧州の政府債務危機、為替や株価の動向等により、景気の先行きが依然として不透明な状況にあることから、歳入の根幹を成す特別区民税収入は、今後も厳しい状況が続くことが予想される。

新たな財政計画では、計画事業費を圧縮するとともに、現世代と将来世代の負担のバランスに配慮し、基金と区債を適切に活用している。今後も、常に中・長期的視点に立ち、限られた貴重な財源を最大限効果的に活用することの基本に据え、必要な区民サービスをこれからも安定的に供給するとともに、盤石な財政基盤の確立に努める。

### 産業・観光振興支援について

質問 ①中小企業の経営支援策について②プレミアム付商品券発行支援事業の推進について③観光を起爆剤とした地域・経済の活性化を図るべき。今後の観光振興への取り組みについて

答弁 ①今後とも、融資制度による資金繰り支援とともに、製品等の付加価値向上による競争力強化や事業効率化による基盤強化など、中小企業の発展に向けて経営支援策を展開する。②今

後も、景気動向を分析するとともに、今年度実施する商店街周辺市場志向調査の結果を踏まえ、効果的な発行について、港区商店街連合会と協議し検討する。

③多彩な観光資源の開発や、情報発信機能の充実・強化、きめ細かな受入体制の整備等、より一層の観光振興の取り組みを推進する。

### 環境問題と清掃事業について

質問 ①地球温暖化対策について②区のエネルギー対策について③現在改定中の一般廃棄物処理基本計画と清掃事業費削減への取り組みについて

答弁 ①区は様々な独自の対策を講じ、高い効果を上げている。更なる対策の充実を来年度改定する地球温暖化対策地域推進計画に位置づけ、区の役割を果たしていく。②東日本大震災や、その後の電力不足により、都心のエネルギー供給をもう一度考え直す必要が生じた。自然災害等により、人が密集した都心で大規模な停電が起きた場合には、治安の維持や公共施設や病院などの機能維持にも支障が生じるおそれがある。区は、環境、超高齢

化、防災の3つのテーマで誰もが暮らしたいまちの実現に向けて今後の取組の方向性を「人ややさしい創造的な環境未来都市みなと構想」として整理し、国の環境未来都市選定事業に応募し

た。構想では、エネルギー供給について、エリア単位で独自に電力と熱をつくり出し、効率的に供給するスマートエネルギーネットワークを構築すること

で、災害に強いまちづくりを進め、区民の安全、安心を確保することを目指す。提案の実現に取り組む。③改定中の「港区一般廃棄物処理基本計画」では、平成33年度には、区民は一日一人あたり110g、多量排出事業者は一日

一事業所あたり2kgのごみの減量という高い目標を設定。計画の確実な実現によって、平成22年度比で、東京二十三区清掃一部事務組合への分担金が約4億円、又、資源化に要するコストが同じく約4億円の減になると試算をした。計画の具体的施策の推進が清掃事業経費などの削減となることを、広報みなと等の媒体を活用し区民・事業者に繰り返し周知する。

### 防災対策について

質問 ①防災対策全般にかかる所見について②地域防災協議会に対し、区が率先してマニュアル作成や避難所運営訓練の実施に取り組むべき③地域防災協議会の位置づけについて④女性や障害者等の視点に立った避難所のあり方や備蓄物資について⑤災害時要援護者の支援について⑥東京都防災対応指針について

答弁 ①防災基本条例に基づき、課題の解決に向けて、積極的な施策を実施している。区民の安全・安心を確保するため、最大限の努力をしていく。②地域防災の中心を担う地域防災協議会

の充実・強化に向け、全力で取り組む。③地域防災協議会は災害時においては避難所の運営の担い手、平常時においては防災行動力の向上のために活動している地域防災の核として、大変

重要な地域防災住民組織。今後、重要な活動を担う協議会について、区民等により広く周知し、理解を深めていただくために、効果的な広報に努める。④女性や障害者の視点からの意見聴取に努め、現在進めている港区地域防災計画の改定作業の中に活かす。⑤今後、災害時にいち早く高齢者等の安否確認を行うため、

情報提供に同意した一人暮らし高齢者等の要援護者の住居や避難所、危険箇所等の情報を地図上で確認できる災害時要援護者マップを作成。⑥都と連携を深めながら、防災対策を更に進める。

### 教育について

質問 ①理科教育という未来への投資について②新学習指導要領が導入。研修内容の充実と子どもに引き合う時間の確保について

答弁 ①来年度は、理科の授業改善を図るための検討委員会を立ち上げ、子ども達にとって、魅力ある理科の授業について小中合同で研究を推進する。同時に港区ならではの理科教育の充実に向けた小中一貫カリキュラムを構築することにより、日本及び世界の将来を担う子ども達が科学への関心を高め、探究心を

もって理科の授業に臨めるよう指導を充実する。②教員と子どもが接する時間を確保するため土曜授業の有効的な活用について検証するとともに、教員の質的向上を図るために研修内容を吟味・精選し、実りある研修を実施する。

特別区の制度と都心区の課題について ①今後の特別区制度のあり方について②都心区の課題について

答弁 ①住民に身近な事務は基礎自治体である区が担うべきであるという基本的な立場で、更なる自治権の拡充を進める。②今後も区の自主性・地域性を尊重しながら、都心区が共有する課題の解決に向けて、主体的に自治体間連携に取り組んでいく。

人事制度について ①特別区人事委員会制度について②専門性を重視した任用について

答弁 ①事務処理水準の確保と共同処理による効率性を図るといいう利点があるが、各区の自主性がより発揮できるよう、今後も特別区区長会で検討を進めていく。②人事異動や異動年限の柔軟な適用、庁内公募制、外部における実務経験者の活用も引き続き進めていく。

### 総合支所制度について

質問 総合支所制度の意義と課題について

答弁 地域の現場で起きている様々な出来事を、区全体の各分野の施策に反映させるための「要」として、総合支所長と支援部長を兼務させている。今後も継続的に検証、改善していく。

### 基本計画等の策定のあり方について

質問 ①区民参画の方法について②計画の期間について

答弁 ①区民説明会の開催や区民意見募集などを行い、より幅広い年代の区民の参加が得られるよう、募集方法や実施方法の工夫を行っている。②中・長期的視点に立った安定的な財政運営

の視点、計画に示した事業の実現性を高めるため6年とし、3年目に見直しを行っている。あきる野市の「みなと区民の森」の活用について

質問 「みなと区民の森」をもっと

## 港区地域防災計画に女性の視点を盛り込むことについて

公明党議員団

### 今後の区政運営について

質問 ①基本計画後期3年の区政運営。②平成27年度以降の区政運営。

答弁 ①基本計画を着実に推進し、質の高い行政サービスを提供する。②財政状況を踏まえ、時代に合った区民サービスが実施できるように計画策定に取り組む。

### 行財政運営における事務事業評価

質問 確実に実施すべき。 答弁 来年度、事務事業評価を本格実施するとともに、最少の経費で最大の効果と、簡素で効果的な区政運営の実現に努める。

### 防災対策について

質問 ①再開発計画段階から帰宅困難者対策を取り入れるべき。②帰宅困難者向け一時受入施設等の案内標識を。③港区地域防災計画に女性の視点を。④区の災害対策本部における教職員の位置づけは。⑤中学生の積極的な避難所運営の仕組みを。

答弁 ①「港区開発事業に係る定住促進指導要綱」に基づき推進する。②円滑な誘導が図れるよう検討する。③計画に反映する。④区の対策本部要員の従事に向け教育委員会や他区と連携し都に働きかける。⑤積極的に検討する。

小・中学生が活用する機会を多くする工夫が考えられないか。 答弁 学校の環境学習での活用を再度周知するほか、PTAの協力による事業展開などについて検討していく。

### 放射能対策について

質問 ①除染実施ガイドラインの周知について。②測定器貸出しを各地区総合支所で行うべき。

答弁 ①区民の不安解消に向けて広報での周知や各総合支所での配布など一層の普及に取り組む。②今後の状況により検討する。

### 公共施設整備における「コンセッション方式」の導入について

質問 導入を検討しては。 答弁 国のガイドラインを踏まえ導入の可能性を検討する。

### 安心安全な自転車走行を目指して

質問 自転車安全条例の制定を。 答弁 総合的な施策を展開する中で規定の整備も検討する。

### 低炭素社会の構築に向けて

質問 街づくりの視点に取り入れるべき。 答弁 来年度改定する地球温暖化対策地域推進計画に低炭素型の街づくりの考え方を明示する。

不妊症と前立腺がんについて 質問 ①不妊症の周知と相談体制の充実を。②前立腺がんの検診年齢の引き下げと受診率向上。 答弁 ①既存の母子健康事業及び総合支所において、きめ細かく相談に応じ、情報提供や啓発・

周知に努める。②専門家等の意見や国の動向を踏まえた検診年齢の検討、高罹患者も含め、より一層の周知に努める。

**運河を生かした観光振興について**

質問 取り組みを推進すべき。

答弁 港区観光振興ビジョンの改定の中で、水辺空間のにぎわい創出の取り組みを推進する。

**高齢者支援について**

質問 ①買い物支援事業を。②住まいの確保を。③介護保険料の上昇抑制と低所得者への配慮を。

答弁 ①芝地区総合支所の地域事業としてシルバー人材センターに委託し、安否確認、いきいきプラザ利用促進、商店街活性化にもつなげる。この実施状況と商店街周辺市場志向調査結果を踏まえ検討する。②サービス付き高齢者向け住宅等多様な住宅確保に努める。③区独自の利用料助成や軽減策を検討する。④市民後見人候補者の養成に向け、港区社会福祉協議会を支援するとともに、制度の周知に努める。

**文化芸術振興施策について**

質問 国や都の制度を利用し、民間企業やNPOなど積極的活用を。区のチェック体制も課題。量の確保と質の向上にどう取り組むか。

答弁 民間事業者に対し、指導・監督、モニタリングや第三者評価などを継続し、保護者や地域懇談会での意見・要望の把握に努め、より質の高い事業を推進していく。

**環境未来都市について**

質問 国の環境未来都市選定事業に応募している理由は。

答弁 エリア単位で独自に電力と熱を作り出し、効率的に供給するスマートエネルギーネットワークを構築したい。モデルケースの田町駅東口北地区公共公益施設は、選定の有無にかかわらず着実に取り組みを進める。

**帰宅困難者対策について**

質問 帰宅困難者対策について都との役割分担は。

答弁 防災対策基本条例に基づき、区内事業所の一斉帰宅の抑制や従業員向け備蓄など、地域全体で先駆的な取り組みを進めている。都との役割分担の再構築に努めていく。

**教員のメンタルヘルス対策**

質問 ①相談体制の充実を。②義務教育終了後の上部教育機関との連携をすべき。

答弁 ①継続的な支援の充実を図る。②進学先へ丁寧な情報提供を行い確実に引き継ぐ。

**内藤副区長の所感について**

質問 副区長の意気込みは。

答弁 環境省で長年環境行政に携わってきた経験を活かし、港区から未来の方向を示していきたい。ような仕事をしたい。

**保育園・児童クラブの定員拡大について**

質問 「人口減少と高齢化」を解決していくために女性の労働力を生かしながら子育ての万全な環境づくりが急務のように感じています。区は取り組みはありますか。

答弁 利用ニーズの把握に努め、待機児童の解消に向け定員拡大を図っていく。

**子ども子育て施策について**

質問 ①保育園と幼稚園の両方を所管する部署の設置など連携強化を。②待機児童ゼロプロジェクトの立ち上げを。③子ども

子育て新システムで起こる課題を克服するために区で先取りした事業計画策定を。

答弁 ①新たな組織の設置は考えていない。②プロジェクトは考えていないが、多様な手法により定員拡大に取り組む。③国の検討状況を注視していく。

子どもたちの救急医療機関の設置が必要だが。

**病児・病後児保育室について**

質問 送迎など柔軟対応ができないか調査・研究を要望。現状の課題と改善策は。

答弁 病院併設型は全体的に増加傾向。施設ごとに利用の偏りがある。利用者へ積極的にPRしていく。

**持続可能な社会の構築について**

質問 「みなとモデル」二酸化炭素固定認証制度の国産木材使用義務は、コスト高で利用が進まないことが懸念されるが。

答弁 製造業者に建設事業者のニーズを伝達し、商品の提供を促している。今後も木材を利用し易い環境整備をしていく。

**小児救急医療の充実について**

質問 休日・夜間問わず駆け込め

答弁 簡素で効率的な区政運営に努め、最少の経費で最大の効果をあげられるよう、事業の重要度、優先度を見極めながら、区民福祉の向上に取り組んでいく。

**共産党議員団**

質問 食料検査のために、多核種が検査できるゲルマニウム半導体検出器を購入すること。⑥子ども

の尿検査費用の助成を行うこと。⑦来年度は4台に拡大していく。さらに台数を増やすことは、今後の状況を踏まえ検討していく。⑧区としてストロ

**震災に備えたマンションの発電燃料の調達について**

質問 一定規模以上のマンションには発電機が設置してあるが、消防法によって燃料の備蓄量が規制されているため長時間しか作動させることができない。非常用発電機燃料の確保は水・食糧と同じく都市機能を維持する

ために必要な物資である。首都直下型地震では6日間の停電が想定されているが、我が会派としては東京港に大量に備蓄されている船舶燃料(A重油、軽油)をビル・マンションの発電機燃料として確保し分配する仕組み

**みんなの党**

質問 一定規模以上のマンションには発電機が設置してあるが、消防法によって燃料の備蓄量が規制されているため長時間しか作動させることができない。非常用発電機燃料の確保は水・食糧と同じく都市機能を維持する

ために必要な物資である。首都直下型地震では6日間の停電が想定されているが、我が会派としては東京港に大量に備蓄されている船舶燃料(A重油、軽油)をビル・マンションの発電機燃料として確保し分配する仕組み

**子どもたちを放射能汚染から守れ**

質問 区民は、港区や国の取り組みで本心に子どもたちのいのちと健康が守れるのか心配している。いままでの取り組みを評価し、進めるとともに、次のことを求める。①区民貸出し用の測定器をさらに増やすこと。②土壌等のストロンチウム測定を行うこと。③保育園児が散歩に行く場所や通学路の測定を実施すること。④港区放射性物質除染実施ガイドラインの除染基準は、芝浦工大での測定結果を基に屋内遮蔽効果を0.6倍以上とし、除染基準を引き下げる。⑤給食

点検等を行う中で対応していく。

質問 一定規模以上のマンションには発電機が設置してあるが、消防法によって燃料の備蓄量が規制されているため長時間しか作動させることができない。非常用発電機燃料の確保は水・食糧と同じく都市機能を維持する

代表・一般質問

次項へ続く

港区の組織改革の展望について  
働きながら子育てできる万全の環境を  
みなと政策クラブ

総合支所について

質問 「総合支所制度」の縦割り弊害の防止と、地域実情の的確な把握が必要と考えるが。

答弁 より地域の実情をきめ細かく反映するため現在の3課1担当課長の体制に再編した。今後継続的に検証・改善していく。

人口予測について

質問 区民ニーズを満たし、無駄を省くためには的確な人口予測が必要だが。

答弁 今回の人口推計では出生数が著しく増加している港区特有の状況を加味し、きめ細かな分析を行った。人口推計を行政施策に活用していく。

環境未来都市について

質問 国の環境未来都市選定事業に応募している理由は。

答弁 エリア単位で独自に電力と熱を作り出し、効率的に供給するスマートエネルギーネットワークを構築したい。モデルケースの田町駅東口北地区公共公益施設は、選定の有無にかかわらず着実に取り組みを進める。

帰宅困難者対策について

質問 帰宅困難者対策について都との役割分担は。

答弁 防災対策基本条例に基づき、区内事業所の一斉帰宅の抑制や従業員向け備蓄など、地域全体で先駆的な取り組みを進めている。都との役割分担の再構築に努めていく。

内藤副区長の所感について

質問 副区長の意気込みは。

答弁 環境省で長年環境行政に携わってきた経験を活かし、港区から未来の方向を示していきたい。ような仕事をしたい。

保育園・児童クラブの定員拡大について

質問 「人口減少と高齢化」を解決していくために女性の労働力を生かしながら子育ての万全な環境づくりが急務のように感じています。区は取り組みはありますか。

答弁 利用ニーズの把握に努め、待機児童の解消に向け定員拡大を図っていく。

子ども子育て施策について

質問 ①保育園と幼稚園の両方を所管する部署の設置など連携強化を。②待機児童ゼロプロジェクトの立ち上げを。③子ども

子育て新システムで起こる課題を克服するために区で先取りした事業計画策定を。

病児・病後児保育室について

質問 送迎など柔軟対応ができないか調査・研究を要望。現状の課題と改善策は。

答弁 病院併設型は全体的に増加傾向。施設ごとに利用の偏りがある。利用者へ積極的にPRしていく。

持続可能な社会の構築について

質問 「みなとモデル」二酸化炭素固定認証制度の国産木材使用義務は、コスト高で利用が進まないことが懸念されるが。

答弁 製造業者に建設事業者のニーズを伝達し、商品の提供を促している。今後も木材を利用し易い環境整備をしていく。

小児救急医療の充実について

質問 休日・夜間問わず駆け込め

答弁 簡素で効率的な区政運営に努め、最少の経費で最大の効果をあげられるよう、事業の重要度、優先度を見極めながら、区民福祉の向上に取り組んでいく。

共産党議員団

質問 食料検査のために、多核種が検査できるゲルマニウム半導体検出器を購入すること。⑥子ども

の尿検査費用の助成を行うこと。⑦来年度は4台に拡大していく。さらに台数を増やすことは、今後の状況を踏まえ検討していく。⑧区としてストロ

震災に備えたマンションの発電燃料の調達について

質問 一定規模以上のマンションには発電機が設置してあるが、消防法によって燃料の備蓄量が規制されているため長時間しか作動させることができない。非常用発電機燃料の確保は水・食糧と同じく都市機能を維持する

ために必要な物資である。首都直下型地震では6日間の停電が想定されているが、我が会派としては東京港に大量に備蓄されている船舶燃料(A重油、軽油)をビル・マンションの発電機燃料として確保し分配する仕組み

代表・一般質問

について提案する。

答弁 東京都や消防等の関係機関と協議しながら研究する。

震災時の港湾施設の利用について

質問 震災直後に区の管理する橋の橋脚を直接目視で安全確認する必要があるのではないか、そのためには船が必要と思うが、船舶を利用する上で必要な、区が防災協定を結んでいる棧橋と夜間休日時などを含め具体的な利用計画は立てているのか。

答弁 早急に検討する。

エレベーター対策について

質問 3月の震災時に停止したエレベーターで当日中に復旧できなかったのは2割に過ぎなかった。停止したエレベーターの大半は安全を確認した後、リセットボタンを押すだけの作業だったと聞く。病院ではすぐに復旧できるよう常駐するビル管理会社がエレベーター管理会社に代わりリセットすることになっているが、同様にマンションでも建物管理会社がリセット復旧できるように指導できないか。

答弁 考えていない。

暴力団排除について

質問 区の施設利用や補助金対象から暴力団関係者を排除する規定がないが、東京都暴力団排除条例の制定を受け、区でも規定を検討すべきではないか。

答弁 検討する。

財政運営について

質問 ①2年で100億もの税収が減少する中、今後の区財政をどう考えるか。この時代に豪華な公務員宿舎の新規建設を行う姿勢に大きな憤りを覚える。②今後の厳しい区の財政を考える

と公務員の人員削減などにも踏み込むべきではないか。

答弁 ①今後も盤石な財政基盤の確立に努める。②人件費は適正な給与水準の維持に努める。

田町駅東口北地区公共施設について

質問 文化芸術ホールの建設が一旦中止されたことは我が会派の主張が取り入れられたものであり区の決断を評価する。①今後違約金等は発生しないか。②一体開発という前提が崩れた以上、施設全体の設計を一から見直すべきではないか。③建設費とラニンングコストの削減はどのくらいか。

答弁 現行の退職手当の取り扱いは国の判断で区の問題ではない。

学童クラブについて

質問 学童クラブについて①計画上では希望する子どもがすべて学童クラブに入会できるのか。②既存の放課G.O.クラブは、安全で安心して過ごす場所になっているのか、一日も早い改善が必要。③学童クラブの時間延長を早急にしていくべきである。④柔軟に対応ができる都型学童の誘致を。

答弁 ①平成26年度までに約180名の定員拡大をする。学童クラブの待機児童が生じないための施策を推進する。②質の高い学童クラブを実施していく。③子どもの自宅での生活時間にも配慮し、検討していく。④民間学童クラブに関する情報収集に努めていく。

児童虐待について

質問 児童虐待について①計画上では希望する子どもがすべて学童クラブに入会できるのか。②既存の放課G.O.クラブは、安全で安心して過ごす場所になっているのか、一日も早い改善が必要。③学童クラブの時間延長を早急にしていくべきである。④柔軟に対応ができる都型学童の誘致を。

副区長人事について

質問 副区長が中央官庁から十分な説明も無く就任し、任期途中での辞任の可能性を明言されている。また国家公務員を退職した際の退職手当を受け取っておらず、区は今議会で国家公務員から副区長となる場合の退職手当の条例を整備しようとしている。就任後に条例整備するのは順序が逆で議会軽視ではないか。

答弁 現行の退職手当の取り扱いは国の判断で区の問題ではない。

学童クラブについて

質問 学童クラブについて①計画上では希望する子どもがすべて学童クラブに入会できるのか。②既存の放課G.O.クラブは、安全で安心して過ごす場所になっているのか、一日も早い改善が必要。③学童クラブの時間延長を早急にしていくべきである。④柔軟に対応ができる都型学童の誘致を。

答弁 ①平成26年度までに約180名の定員拡大をする。学童クラブの待機児童が生じないための施策を推進する。②質の高い学童クラブを実施していく。③子どもの自宅での生活時間にも配慮し、検討していく。④民間学童クラブに関する情報収集に努めていく。

児童虐待について

質問 児童虐待について①計画上では希望する子どもがすべて学童クラブに入会できるのか。②既存の放課G.O.クラブは、安全で安心して過ごす場所になっているのか、一日も早い改善が必要。③学童クラブの時間延長を早急にしていくべきである。④柔軟に対応ができる都型学童の誘致を。

答弁 ①平成26年度までに約180名の定員拡大をする。学童クラブの待機児童が生じないための施策を推進する。②質の高い学童クラブを実施していく。③子どもの自宅での生活時間にも配慮し、検討していく。④民間学童クラブに関する情報収集に努めていく。

社 民 党

質問 子ども家庭支援センターは2月に保健所と併設することから、さらに、妊娠前から出産直後の支援体制の強化が可能となる。児童虐待の予防並びに早期発見・適切な対応がとれるよう周知・啓発に努めていく。

質問 ①南麻布に計画中の小規模多機能型住宅介護施設を全ての地区に拡大を。②保険料は所得に応じた負担へと変更すべき。

答弁 ①平成24年度に麻布地域に整備。利用実績や要介護者の状況の調査・分析を踏まえて検討する。②低所得者の方の保険料軽減のため、更なる多段階設定を検討する。③可能な限り計画に反映していく。

体系的な環境教育・バイクシェアリング・起業家支援策等について

質問 ①副読本と体験学習等を組み合わせ、体系的な環境教育プログラムの導入が必要では。②バイクシェアリング(自転車共有事業)の導入を進めるため、無線通信を活用した仕組みを取り入れ、小規模な駐輪場を設置すべき。③区の方針や施策等を継続的に啓発し、行動を喚起するため、港区にゆかりのある著名人を大使として採用すべき。

答弁 ①幼稚園や学校が実施している特色ある環境教育を推奨する。②来年度の芝浦港南地区の地域事業として、ご提案を参考にしながら、調査を進める。③PR効果が期待できる著名人をお招きした事業を積極的に実施し

住宅介護の充実

質問 都心での在宅介護は大変。家族の負担を減らす施策整備を。介護サービスの一層の充実と医療・介護、福祉が連携し、地域で高齢者を支えるネットワーク強化が重要。小規模多機能型住宅介護施設を整備する。

答弁 介護サービスの一層の充実と医療・介護、福祉が連携し、地域で高齢者を支えるネットワーク強化が重要。小規模多機能型住宅介護施設を整備する。

生活保護からの自立支援について

質問 区では22年度から受給者が顕著に増え、2年で約10億円の増。20代30代の受給者は163人。いかに自立に結びつけるか。

答弁 条件は緩和しない。工事件数の増加を目指し取り組む。

みなとミライ

みなんでつくる新しい公園のあり方について

質問 企業やNPO、地域住民の方などと共に、まちの人が主体的に公園を管理・運営する新しい公園づくりが必要。安全でにぎわいのある楽しい公園づくりに取り組んでいく。

区有施設を活用した起業家支援について

質問 商工会館等の公共施設の利用時間を延長し、「場」の面から社会活動等に励む区民や起業家を支援すべき。

答弁 利用時間拡大は、利用ニーズを慎重に見極める必要がある。今後も、創業支援の充実を図る。

住宅介護の充実

質問 都心での在宅介護は大変。家族の負担を減らす施策整備を。介護サービスの一層の充実と医療・介護、福祉が連携し、地域で高齢者を支えるネットワーク強化が重要。小規模多機能型住宅介護施設を整備する。

答弁 介護サービスの一層の充実と医療・介護、福祉が連携し、地域で高齢者を支えるネットワーク強化が重要。小規模多機能型住宅介護施設を整備する。

生活保護からの自立支援について

質問 区では22年度から受給者が顕著に増え、2年で約10億円の増。20代30代の受給者は163人。いかに自立に結びつけるか。

答弁 条件は緩和しない。工事件数の増加を目指し取り組む。

仲間へ勇気の会

「就労支援チーム」を強化するなど支援の充実に取り組む。

耐震改修の促進について

質問 耐震診断、設計、改修経費を区で一部助成しているが費用が負担で改修が進んでいない。現在一定基準を満たす設計にのみ助成が出るが、予算に応じ簡易な補強でも助成しては、実態把握し効果的な策を講じるべき。

答弁 他自治体との費用比較やアセスメントの充実等を図ると共にC.I.O設置自治体を参考に、一層のコスト削減に努める。

一時保育のお知らせ

区議会では、保護者の方が会議を傍聴している間、就学前のお子さんをお預かりすることがあります。

傍聴しようとする会議の開催3日前(土日、祝祭日を除きます)までに区議会事務局へ電話等でご相談ください。

なお、会議の開会予定については区議会ホームページ、ポスター等でご案内いたします。

【申し込み・問い合わせ先】  
区議会事務局調査係  
電話 3578-2921

各会派の連絡先

不在の場合は区議会事務局(3578)2911へ

自民党 電話(3578)2927 FAX(3578)2909  
共産党 電話(3578)2945 FAX(3578)2947  
ミナトミライ 電話(3578)2933 FAX(3578)2944

公明党 電話(3578)2935 FAX(3578)2937  
みんなの党 電話(3578)2958 FAX(3578)2854  
仲間へ勇気の会 電話(3578)2963 FAX(3578)2944

みなと政策クラブ 電話(3578)2938 FAX(3578)2949  
社民党 電話(3578)2923 FAX(3578)2944  
フォーラム民 電話(3578)2943 FAX(3578)2944

議会はほんたにも傍聴できます

区議会の会議は、公開されています。本会議、委員会とも傍聴できますので、ぜひお出かけください。

本会議は議会棟6階の傍聴席入り口で、委員会は各委員会室で傍聴申込書に住所・氏名をご記入の上、傍聴券を受け取ってお入りください。

傍聴を希望される方は、当日の会議予定を区議会事務局にご確認の上、お出かけください。

【問い合わせ先】  
区議会事務局議事係  
電話(3578)2915

皆さんから  
提出された請願

継続審査とした請願

いわゆる「人権侵害救済法案」について、慎重な対応を強く求める趣旨の意見書を、政府に送付することを求める請願  
区民のいのちを守るため、安心して払える国保料へ改定する請願  
関東大震災後の日本橋魚市場の仮設芝浦魚市場の記念碑設置に  
関しての請願  
港区議会各会派に支給されている政務調査費の使用明細をホームページに公開を求める請願  
福島第一原子力発電所の事故をふまえ、港区議会が原発政策を抜本的見直しするよう国に働きかけ、「脱原発都市宣言」を行うよう求める請願  
現行の保育所最低基準を堅持・拡充し、「子ども・子育て新システム」の法案化に反対する意見書提出を求める請願  
子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書提出を求める請願  
「子ども・子育て新システム」の撤回を求める請願  
スポーツセンター卓球教室についての請願  
朝鮮学校保護者補助金の廃止を求める請願  
港区議会の本会議場に国旗の掲揚を求める請願

決議しました  
要旨

第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の東京招致に関する決議

オリンピックは、スポーツを通じて多くの国民、世界中の人々に感

動と喜び、希望を与えてきた。東日本大震災と原子力発電所の事故は、我が国に甚大なる被害をもたらしたが、オリンピック、パラリンピックがもたらす人間の持つ可能性は、復興への力となる。また、大震災から復興した姿と、日本が安全であることを世界に示すと共に復興の目標となる。

また、大震災から復興した姿と、日本が安全であることを世界に示すと共に復興の目標となる。また、V.P.D(ワクチン)で防げる病気として、水痘など多くの疾病に対するワクチンは、短期の臨時事業で終えられるものではなく、継続して公費負担で実施されること健康維持増進に大きく力を発揮する。

よって、港区議会は政府に対し、都の招致活動を全面的に支援、協力することを表明します。以上、決議する。

意見書  
を提出  
しました  
要旨

港区議会

国の防災基本計画は、「女性の参画・男女双方の視点」政策決定過程における女性の参加が明記されたが、具体的な施策にまで反映されているとは言えない。よって港区議会は、政府に対し、防災会議に女性の視点を反映させるため、次の事項について速やかに実施するよう強く求める。

- 一 中央防災会議に少なくとも3割以上の女性委員を登用すること。
- 二 地方防災会議へ女性委員を積極的に登用するため、都道府県知事や市区町村の長の裁量により、有識者枠を設けることを可能とする災害対策基本法の改正を速やかに行うこと。

定期接種に関し、早期に国の  
制度確立を求める意見書

子宮頸がん予防ワクチン等の3種のワクチン接種緊急促進事業は、期限措置として実施されてきたが、当該対象者に十分行き渡ったとはいえない状況です。

また、V.P.D(ワクチン)で防げる病気として、水痘など多くの疾病に対するワクチンは、短期の臨時事業で終えられるものではなく、継続して公費負担で実施されること健康維持増進に大きく力を発揮する。

よって、港区議会は政府に対し、早期に次の制度を確立するよう強く求めるものです。

- 一 子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンについては、定期接種化までの間の臨時促進事業を継続すること。
- 二 高齢者に対する肺炎球菌ワクチンを含むV.P.Dに対する公費定期接種の継続及び拡大を図ること。
- 三 安心して平等に受けられる予防接種体制を確立すること。

議員提出案件

継続審査とした案件

港区高齢者の医療費の助成に関する条例(平成23年10月12日提出)  
港区立三田四丁目保育園改築工事の「工事請負契約の承認について」(原案可決)  
西麻布保育園の改築工事に伴い、位置を変更するほか、たかはま保育園を新たに設置するとともに、同保育園に指定管理者制度を導入する「港区立保育園条例」の一部を改正する条例(原案可決)

常任委員会の活動記録

総務

東日本大震災の影響による資料等の調達の遅れにより、工期を

変更する「港区みなと保健所庁舎改築工事請負契約」同「電気設備工事請負契約」同「空気調和設備工事請負契約」同「給排水衛生ガス設備工事請負契約」の「専決処分」(4案承認)  
① 主な質疑  
① 工期変更後の工事内容  
① 東日本大震災を踏まえた施設の防災機能強化のための工事の設計変更により、契約金額を変更する「(仮称)芝地区子ども中高生プラザ等保健福祉複合施設新築工事請負契約」同「電気設備工事請負契約」同「空気調和設備工事請負契約」同「給排水衛生設備工事請負契約」の「専決処分」(4案承認)

① 主な質疑  
① 換気機能、太陽光発電等の機能強化の効果  
① 国家公務員から引き続き副区長に選任された者に係る退職手当の特例を設けるため、規定を整備する「港区長等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例」(賛成多数で原案可決)

① 主な質疑  
① 国家公務員として退職手当を支給されない根拠  
① 平成23年度港区一般会計補正予算(第4号)(原案可決)

① 主な質疑  
① 帰宅困難者対策の食糧等備蓄の内容  
① (仮称)港区立三田四丁目保育園改築工事の「工事請負契約の承認について」(原案可決)

① 工事車両通行の安全性の確保  
① 災害対策職員住宅等の用途に供するため、建物の一部を購入する「建物の購入について」(賛成多数で原案可決)  
① 主な質疑  
① 災害対策住宅入居職員の具体的な活動内容  
① 港区特別職報酬等審議会の答申を受け、区長等及び教育長の給料の額を改定する「港区長等の

給料等に関する条例の一部を改正する条例」及び「港区教育委員会教育長の給与、旅費並びに勤務条件に関する条例の一部を改正する条例」(賛成多数で2案原案可決)  
① 主な質疑  
① 港区の地域特殊性を勘案し削減を行わないこと  
① 特別区人事委員会の勧告を受けて、職員の給与を改定するほか、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行による「地方公務員法」の一部改正に伴い、規定を整備する「港区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」(原案可決)

① 主な質疑  
① 平成23年度港区一般会計補正予算(第5号)、平成23年度港区国民健康保険事業会計補正予算(第1号)、平成23年度港区後期高齢者医療会計補正予算(第1号)、平成23年度港区介護保険会計補正予算(第2号)(賛成多数で5案原案可決)

① 改定による年間給与への影響  
① 閉会中の委員会における活動  
① 港区後期基本計画実施計画(素案)

① 主な質疑  
① 西麻布保育園の改築工事に伴い、位置を変更するほか、たかはま保育園を新たに設置するとともに、同保育園に指定管理者制度を導入する「港区立保育園条例」の一部を改正する条例(原案可決)

① 夜間10時までの延長保育及び休日保育に対する保護者の要望  
① 朝日児童館を廃止する「港区立児童館条例の一部を改正する条例」(原案可決)  
① 主な質疑  
① 児童館廃止後の移行先での活動

● 港南子ども中高生プラザの位置を変更する「港区立子ども中高生プラザ条例の一部を改正する条例」(原案可決)  
① 主な質疑  
① 学童クラブの時間延長  
● 障害保健福祉センターで実施する事業の一部を障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業及び地域活動支援センター事業に移行すること等に伴い、規定を整備する「港区立障害保健福祉センター条例の一部を改正する条例」(原案可決)

① 主な質疑  
① 障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉策を見直すまでの間に、関係法律の施行による「児童福祉法」の一部改正に伴い、規定を整備する「港区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」(原案可決)

① 区内のひとり親家庭等医療費助成受給世帯数の動向  
● 障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉策を見直すまでの間に、関係法律の施行による「児童福祉法」の一部改正に伴い、規定を整備する「港区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」(原案可決)

① 主な質疑  
① 朝日中学校通学区域における小中一貫教育校の建設に伴い、朝日中学校の位置を変更する「港区立学校設置条例の一部を改正する条例」(賛成多数で原案可決)

① 小中一貫教育導入後の成果  
● 特別区人事委員会の勧告を受けて、幼稚園教育職員の給与を改定する「港区幼稚園教育職員の給与に関する条例」の一部を改正する条例(賛成多数で原案可決)  
① 主な質疑  
① 公務員の給与引き下げが与える経済への悪影響  
● 閉会中の委員会における活動  
① 港区住民基本台帳の閲覧方法の見直し

● 建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例(賛成多数で原案可決)  
① 主な質疑  
① 各地区における権利者数及び準備組合加入者数  
● 「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行による「景観法」の一部改正に伴い、規定を整備する「港区景観条例の一部を改正する条例」(原案可決)

① 主な質疑  
① 景観法の一部改正になった背景  
● 建物及び住宅駐車場の明渡し並びに滞納使用料等の支払を求める民事訴訟を提起する「訴えの提起について」(原案可決)  
① 主な質疑  
① 法的措置対象者選定委員会の判断基準  
● 閉会中の委員会における活動  
① 主な報告事項  
① 特定緊急輸送道路沿道建築物支援事業の実施

● 朝日中学校通学区域における小中一貫教育校の建設に伴い、朝日中学校の位置を変更する「港区立学校設置条例の一部を改正する条例」(賛成多数で原案可決)

● 朝日中学校通学区域における小中一貫教育校の建設に伴い、朝日中学校の位置を変更する「港区立学校設置条例の一部を改正する条例」(賛成多数で原案可決)

● 朝日中学校通学区域における小中一貫教育校の建設に伴い、朝日中学校の位置を変更する「港区立学校設置条例の一部を改正する条例」(賛成多数で原案可決)

● 朝日中学校通学区域における小中一貫教育校の建設に伴い、朝日中学校の位置を変更する「港区立学校設置条例の一部を改正する条例」(賛成多数で原案可決)

